

こうとう民報

2015年9月号 130

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

違憲の戦争法廃止へ!



9月5日、戦争法案の廃案をめざす大島地域の住民たちが、総合区民センターで「戦争法案に反対する大島の会」の結成集会を開きました。琉球新報東京支社報道部長の島洋子さんが講演、95名が参加しました。

島洋子さんの講演要旨

昨年の選挙で、前回「辺野古移設反対」といって当選した自民党議員や前知事が公約を裏切り賛成したことに県民の強い怒りが結集。超党派で大回団結し「オール沖縄」がつくられ勝利した。

この経験を活かし、国政でも安倍暴走政権をストップさせるため、少数野党が連帯することへの期待を述べました。「集団的自衛権」の本質は、日本が攻撃されていないのにアメリカの戦争に参加すること、殺し殺されるということです。

沖縄で、1965年のベトナム戦争時に、米軍の爆撃機が沖縄の基地からベトナムで爆弾の投下や枯葉剤を撒いて、ベトナムからは「悪魔の島」

と呼ばれ、県民は「平和憲法のもとに戻りたい」と叫びました。日本を「悪魔の島」にしてはなりません。

最後に、メディアへの安倍政権の介入について、報道の自由、言論の自由も奪われたら、その先は戦争です。琉球新報は「戦争のためにペンをとらない」ことを守り続ける決意です。

4人がリレートーク

大島6丁目在住で、東京大空襲訴訟原告の佐久間さん

「19歳で軍隊に志願して中国にわたり、上官から度胸だめしに中国人を突き殺せと命令された。このことは70年間、誰にも話せませんでした。戦争はひどいものです」

吉沢江東診療所長 「戦争は福祉・医療の予算も削る。今の安倍政治を変えなければいけない。廃案へ野党の結束は大事。創意工夫してたたかおう」

耐え難い騒音被害

計画によれば、年間6割を占める北風時に羽田空港を離陸する飛行機が荒川上空を飛行。午前6時から10時半まで

今でも過密な羽田空港

住宅地上空の飛行は航空機事故の不安も広がります。騒音状況を確保する「試験飛行」を求める声に対し、国は「現

【第3回定例会】

安全軽視の飛行経路変更計画中止を

は2〜3分に1機が通過することになります。騒音は70デシベル以上、国の基準でも防音対策が必要なレベルになります。

行の運行が非常に過密な状況であり、「試験飛行は困難」と答えています。安値競争により機体整備が不十分になっているとの指摘もあり、さら

憲法違反の戦争法案は廃案に!

「砂町の会」が商店街をパレード

9月12日、「戦争法案に反対する砂町の会」は、東砂2



丁自公園から南砂3丁目公園まで「戦争法案」阻止の砂町パレードをおこない、150名が参加しました。

出発前の集会には、呼びかけ人で医師の赤羽根蔵さんから「自衛隊が海外で戦争できる法案が通ることは非常に危険です。何としても阻止しましょう」とメッセージが寄せられました。「砂町の会」を代表して佐藤正広・元小学校長が「戦争法案」阻止の運動を上げ廃案にしようとの開会の挨拶。「戦争法案」潰せ江東行動実行委員会、「大島の会」の事務局長らが連帯の挨拶をしました。

出版社勤務の森さんは、ヘイトスピーチなどに反対する立場から発言。「70年間も誰一人他国の

なる過密化は事故増加の不安を増すことになります。

安全軽視の飛行経路変更はやめよ

区議団は今回の飛行経路の変更が住民には耐え難い騒音被害と事故不安を増大させるものであり、「オリンピック開催に対応する」との口実に

東京の一極集中を加速し、更なる大開発をすすめる路線上のものとして、計画の中止要請を国に対し行うよう区の対応を求めています。

南砂2丁目団地で、

9条署名に521筆

9月6日、区民要求江東実行委員会は、南砂2丁目団地で「憲法9条を守る団地署名・パート8」を取り組み11団体38人が参加しました。

「戦争はやめてはいけない」という声など、230世帯から署名が寄せられました。

潮騒

栃木や茨城などに、川の氾濫で甚大な被害をもたらした記録的な大雨。その後は一気に秋めいて、連休には晴天

が続きます。19日未明、戦後最悪の「戦争法案」成立を暴力的に強行する自・公などと、あらゆる手段で阻止するため、に結束した野党との攻防が、廃案を叫ぶ多くの国民の目前で行われました。直前に開催された中央公聴会で松井名古屋大名誉教授は集団的自衛権とは先進国の海外での権益を守るために考えだされたもの、と意見陳述。日本は、84年前の9月18日(柳条湖事件)に「満蒙は生命線」として関東軍が「自衛権」を発動し、あの悲惨な15年戦争に突入しました。いま、アメリカと集団的自衛権行使をすすめるこの法案とのたたかいは、国会での多数決による成立をもつて終息するものではありません。主権者として国民が、憲法に違反するいかなる暴挙をあくまでも追及する、「不断の努力」によって「真の民主主義を守っていかねばなりません」。江東区では短時日のうちに、個人有志が自発的に参加する戦争法案つぶし潰せ江東行動実行委員会をはじめ、「砂町の会」や「大島の会」が組織され、精力的に学習会や署名、宣伝活動に取り組み、空前の集会・パレードも成功させました。70年続いた戦後の日本を、再び戦前に戻さないために、日本共産党は19日、戦争法廃止の国民連合政府実現を呼びかけました。

「米騒動と江東」

関根正三群像



概説

江東の歴史 (48)

1918(大正7)年まで続く大戦で、民衆は物価高にあえいでいました。物価を押し上げたのは米価でした。深川正米市場では、1917年に1石(150キロ)あたり16円だったのが、18年10月には44円超(2.7倍)の急騰です。

米価高騰は米不足のためではなく、ロシア革命へ干渉する1918年8月のシベリア出兵をあてこんだ、米商人の買い占めによるものでした。深川で憎しみの的になったのは、佐賀の「鈴弁」こと、外米商鈴木弁蔵です。1918年7月、富山県の漁村の主婦たちから始まった米騒動は、たちまち全国(368市町村70万人)にひろがりました。

東京では、8月13日夜、1,500人が日比谷公園に集まり、その一部は深川の米穀取引所へむかいました。深川の警察は永代橋に警戒線をしき、軍隊や在郷軍人会は取引所に出動しました。深川にむかった民衆は、洲崎行き市電を破壊したりしますが、永代橋を渡ることができず、高橋の貧民たちも石をもって佐賀町にむかいますが、警官隊に阻まれてしまいました。「佐賀町はめっちゃめっちゃ」「鈴弁の倉庫が一番ひどかった」などの噂が伝わりましたが、深川では、結局、なんの騒動にもなりませんでした。

米騒動の翌19年6月6日、鈴木弁蔵が新潟の信濃川べりで、トランクに詰められて殺されているのが発見されました。捜査の結果、犯人は農商務省の外米管理首席技師山田憲と判明。この2人は、米騒動の当時、結託して巨利を手中にした汚職の相棒でしたが、仲違いから殺人事件に発展したものです。米騒動では軍隊や警察に守られて無事だった鈴弁も、利益の分け前で対立し、仲間に殺害されたのです。

米騒動の年、富岡八幡の祭礼は延期されました。

深川の八幡の祭り延びけらし
街のかざりを取りあふる真昼 (古泉千櫻)

亀戸事件92周年追悼会 「事実を知り、ふたたび権力による言論封殺を計さない」



決意を述べる日本民主青年同盟 小山副委員長

9月6日、亀戸赤門浄心寺で開かれた第92回亀戸事件追悼会は戦争法廃案めざす決意を込めた追悼の言葉が述べられました。追悼会には76名が参加しました。

1923年9月1日に発生した関東大震災の混乱に乗じた天皇制権力は、被災者救済にとりこんでいた川合義虎共産主義青年同盟初代委員長(現民主青年同盟)ら労働運動や社会主義運動の活動家10名を亀戸警察に投獄、その日のうちに習志野連隊によって虐殺された事件です。これは

日本の近代史に拭いきれない汚点を残す権力犯罪でした。その後、治安維持法制定で国民の目や耳、口を封じ、満州事変に突入しました。日本民主青年同盟小山副委員長は、「多くの青年が、自衛隊と米軍が一体になり海外でたたかう戦争法案に対して、絶対反対と声をあげ国会包囲の行動に立ち上がり、列島をつつむ大きなうねりになっている。社会進歩と平和に命をささげた先輩達に心からの敬意を表し、伝統を守り希望ある未来めざし頑張る」と決意を表明しました。追悼会には、あぜ上三和子都議、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟などから、戦争法廃案めざす決意を込めた追悼の言葉が述べられました。追悼会後、全員で亀戸事件犠牲者追悼碑に献花しました。

8.30 戦争法案廃案 国会周辺に12万人



江東・大島の会

国会前にひるがえる江東ののぼり旗



ぶっ潰せ江東行動実行委員会

江東の多数が参加

9月5日午後5時からのパレードは、「戦争法案ぶっ潰せ 江東行動実行委員会」が呼びかけた7月25日に続く第2弾。パレードスタート前の集会では代表呼びかけ人の一人、宇都宮健児弁護士が「主権者は国民。江東区からも主権者としての声をあげ、戦争法案廃案の声を区民に届けよう」と訴えました。あぜ上三和子都議も「国会の会期末まで3週間。国民が声をあげることが大切です。声を束ねて戦争



パレードする参加者たち

法案を廃案に」と強調しました。ママの会、辺野古の基地に反対の女性船長からもスピーチがありました。「大空襲を体験した江東区民は戦争法案に反対します」と大書したライトブルーの横断幕を先頭に、ベビーカーの子ども連れから80代の女性まで420人以上の参加者は、東陽公園をスタートし、「9条壊すな!」「戦争NO!」「若者を戦場に送るな」「憲法改悪反対」「アベ政治を許さない」など思い思いのプラカードやのぼり旗を掲げながら、元氣よく永代通りを門前仲町まで歩きました。

東陽町から門前仲町まで区民にアピール

9.5 戦争法案ぶっ潰せピースパレード 「9条壊すな!」と420人

【訂正】8月号一面の砂町の会結成総会の写真説明は講演ではなく司会者挨拶でした。お詫びして訂正いたします。

行事日程

- 10月3日(土)13時30分
亀戸事件ファイルワーク
梅屋敷集
- 10月8日(木)13時15分
江東区職労第64回定期大会
砂町文化センター
- 10月15日(木)10時30分
年金おしゃべり会
砂町文化センター
- 10月24日(土)18時30分
総会
砂町文化センター